

# 会 報 《第437号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



令和4年4月1日

## 目 次

- I 創立75周年を迎えるにあたり
- (一社) 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎 . . . 2頁
- II 会員寄稿
- 「兵庫津ミュージアム探訪」
- (株)岡工務店 取締役副社長 岡 澄彦 氏 (当会理事) . . . 3頁
- III 令和3年度第4回理事会 . . . 4頁
- IV お知らせ 行事予定 編集後記 . . . 4頁
- V 特別会員(行政関係,関係団体)の異動状況 . . . 5頁
- VI 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度、 . . . 6頁



## I 創立 75 周年を迎えるにあたり

(一社) 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎

国内では 3 月 21 日に「まん延防止等重点措置」が解除されたにもかかわらず、現在もコロナ感染者が相当数発生しています。新型コロナ禍での生活も 3 年目に入りましたが、未だ終息の目途が立たず、先の見えない時代が続きます。

一方、2 月 24 日には、ロシアがウクライナに侵攻し、戦争の悲惨さを思い知らされました。核を脅しに使う大統領に対して、被爆者二世の一人として怒りを禁じ得ません。一日も早くウクライナの人々に平和な暮らしが取り戻せることを祈ります。

さて、当会この 2 年間の事業活動は、私の役不足の上に、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が何度も発令されたことから慎重な運営となりました。よって、事業計画とは程遠く、十分な事業が実施出来ず、会員相互の懇親を深める機会も限られ今日に至りました。

しかしながら、コロナ禍であっても当会の活動を前に進めなければなりません。令和 4 年度の総会では役員改選が行われますが、3 月 24 日開催の理事会で令和 4,5 年度の理事・役員候補者が承認されました。後日お手元に届く総会資料をご一読願ひ、来る総会で新たな理事・役員候補者案のご承認をいただければと願っております。また、当会会報第 434 号「新年のご挨拶」のなかでご紹介した通り、本年は創立 75 周年の記念のすべき年にあたります。節目を迎え当会のアイデンティティーを再確認する年度になればと思っています。当会は、ご承知の通り創立 50 周年時（1997 年）には「時代を築くヒューマンネットワーク」に理念を語り、その後も「環境との共生」について考えてきたユニークな団体です。

そして、地球温暖化の進展に伴い、当会の使命として身近に迫る自然災害に備える意味からも、当会では、9 月月例会を創立 75 周年記念事業と兼ねて「ポストコロナの時代（案）」と題して京都大学名誉教授 河田恵昭先生による記念講演を企画しています。先生の知見に富んだ考えをお聞かせ願ひ、当会の今後進むべき方向性を考える機会にしますので多くの方のご参加をお願いします。

次に、地球環境課題に対して、昨年には英国で国連気候変動枠組み条約第 26 回締結会議（COP26）が開催され、成果文書が採択されました。各国は、産業革命前からの気象上昇について 1.5 度抑えるよう努力するとし、我が国も「エネルギー基本計画」が策定されました。今後は更に、気候変動対策

を急ぐ必要があります。そのためにはカーボンニュートラルに向けた温室効果ガス排出削減が急務であり、石炭火力の割合を 2019 年度の発電電力量の 32%から 30 年では 19%とし、段階的に減らさなければなりません。それには、CO2 排出量を抑える技術開発と、再生可能エネルギーを主力電源とすることが求められます。我々の生活にも大きな影響が及ぼすものと思われます。

そして、建築分野では、エネルギー使用量の削減が遅れており、大幅な省エネに舵が切られ、脱炭素に向けたエネルギー効率の向上が重要になりました。ビルや住宅の断熱性能を高めることが求められ、更に 2030 年度までに新築公共建築物等では、「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の実現に進みます。ZEB を達成する建物を設計、建設する技術が必須になりますが、住宅同様に急激に省エネ化が高まると考えます。

今後の動きとしては、建築界全体が脱炭素・低炭素社会に対し、ベクトルを合わせ、行動を共にする必要があると考えます。兵庫県においても当会を始め、各種団体、産学官が連携・協調し、説得力ある指針を作成し、消費者にわかりやすく示す必要があると考えます。

他方、半導体や建築関連の機資材価格はコロナ禍によるサプライチェーンの混乱やウクライナショックなどの要因が重なり、原材料の高騰から資材価格の上昇圧力が高まり予断を許さない状況になりました。また、少子高齢化による技術者、技能者の担い手不足も顕著であり建設コスト上昇が慢性化するのではと危惧しています。これらに対する問題提起や対応策についてはそれぞれの業種団体での協議に委ねますが、当会にとっても重大な問題であり会員の動向に影響を来します。当会のモットーとして『談笑すれども議論せず』の不文律がありますが、行政との懇談を通じ我々の窮状を伝えるのも使命の一つと考えています。

これらの大きな課題を克服し、建築業界の持続可能な発展に繋げるためにも当会の役割は更に重要になると考えます。当会の事業を通じ、少しでも会員の皆さまのお役に立つ活動を継続することで、建築業界全体の成長、そして、当会の発展にも必ずや繋がると考えます。

最後になりましたが、皆さま方からの今後のますますのご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、創立 75 周年を迎えた本年が未来への結節点になることを期待し結びといたします。

Ⅱ 会 員 寄 稿  
『 兵庫津ミュージアム探訪 』  
(株) 岡工務店 取締役副社長  
岡 澄彦氏(当会理事)

前号の続編として兵庫津ミュージアムをご紹介します。建築会のほとんどの方はすでに訪れているとは思いますが。

神戸市兵庫区にある兵庫津地域に去る 11 月 3 日に先行オープンしたのは「初代県庁館」。「兵庫はじまり館」(現在新築工事中・2022 年度下期オープン) と、合わせて「兵庫津ミュージアム」という成り立ちである。



初代兵庫県庁 正門よりのぞむ

本施設の位置する兵庫区南部はかつてより日本の代表的な港「兵庫津」として、北前船が運搬する様々な物流が行われたことで知られる。

前述、司馬遼太郎の歴史小説「菜の花の沖」では、近世兵庫津繁栄の時代が生き生きと描写されている。

兵庫津周辺と内陸部にあった幕府領を管轄地として 1868 年に兵庫県が誕生。開港場の地名から兵庫と県名が名づけられた説が有力だが、この時、初代県知事に就任したのが後に初代総理大臣となる伊藤博文である。

初代県庁館は、県庁が置かれた「兵庫勤番所」を復元した施設。当時の知事執務室を含む県庁舎や、旧同心屋敷、仮牢、旧船見番小屋などをリアルに再現。無料かつ等身大で観覧、写真に撮ってみても「映える」大道具である。



兵庫勤番所 お白洲

もうひとつの見どころとして、複合現実世界体験「バーチャル VISIT」。専用の眼鏡型端末「タイムゴーグル」装着によって、出現する初代県知事・伊藤博文に出会うことができる。



バーチャル VISIT

1868 年当時にタイムスリップして幕府最後の兵庫奉行・柴田剛中、兵庫津の豪商・北風正造らに遭遇するバーチャルツアーで幕末維新のドラマを最先端の技術で体験することができる。施設のナビゲータとともに兵庫津の史跡や名所を巡る「兵庫津まちあるき」などのコンテンツを提供する。コンセプトは「歴史空間を体感する復元施設」である。

兵庫「五国」と、その始まりの兵庫津を体感するのが本施設の特長。歴史空間を臨場感一杯に検証できる。

来館した日、兵庫県の県域の変遷について職員から説明をいただいたが、非常に興味深いものであった。

### Ⅲ 令和3年度第4回理事会の開催



令和3年度第4回理事会が下記のとおり開催され、協議事項、報告事項等の審議が行われました。

日時：令和4年3月24日（木）13：30～14：30

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

内容：・令和4年度事業計画について  
・令和4年度役員選任について  
・令和4年度収支予算について  
・ほか

### Ⅳ お知らせ

#### ◎行事予定

#### 1 令和4年度定時総会並びに会員交流会

日時：令和4年5月11日（水）

定時総会 17：00～17：45

会員交流会 18：00～19：30

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

#### 2 令和4年度第1回理事会

日時：令和4年4月21日（木）

13：30～14：30

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

内容：・令和4年度決算等

#### 3 監事監査

日時：令和4年4月12日（火）

場所：兵庫県建築会

内容：令和3年度事業等監事監査

#### 4 月例会

日時：令和4年4月8日（金）

13：00～14：00

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

演題：「2050年の日本」

講師：アジア防災センター

所長 中川 雅章 氏

#### 5 月例会（視察会併催）

日時：令和4年6月9日（木）

13：00～15：00

場所：兵庫県建設業会館

内容：・西神中央文化センター等の視察  
（神戸市、鹿島建設からの事業説明等）

#### 6 月例会

日時：令和4年7月9日（木）

13：00～14：00

場所：神戸舞子 孫中山記念館

内容：「孫文と移情閣」

講師：孫文記念館 主任研究員 蔣海波 氏

なお、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了知ください。

#### ◎編集後記

令和4年度が始まりました。コロナ禍も新しいフェーズに入ってきたような気がしています。

まだまだ慎重に事業を行っていく必要がありますが、会員の皆様のご協力を得ながら進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

事務局 : 吉本義幸、石井滝実子  
電話 : 078-996-2851  
FAX : 078-996-2852  
Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)

## V 特別会員（関係団体、行政関係）異動状況

（兵庫県一本庁分）

（敬称略）

まちづくり部 部長	西谷 一盛
次長	岡 誠
次長	柴田 和弘
総務課長	長坂 幸一
都市政策課長	松浦 純
都市計画課長	松井 雅伸
部参事兼公園緑地課長	北村 智顕
住宅政策課長	吉田 良
公営住宅整備課長	近都 学
公営住宅管理課長	吉田 昌弘
建築指導課長	吉田 安弘
営繕課長	福澤 静司
設備課長	菅 雄二
環境部 部長	菅 範昭

\*兵庫県は4月1日付けで、組織改編が行われ、当会関連は上記のとおりです。

（敬称略）

職 名	新 任	前 任
阪神北県民局 宝塚土木事務所まちづくり参事	伊藤 晃彦	横山 一也
東播磨県民局 加古川土木事務所まちづくり参事	松屋 成史	野崎 敏

丹波県民局 丹波土木事務所まちづくり参事	高橋 篤志	當舎 良章
淡路県民局 洲本土木事務所まちづくり参事	前田 俊文	宮下 誠
(公財)兵庫県まちづくり技術センター 理事長	飯塚 功一	吉村 文章
(公財)兵庫県園芸・公園協会 理事長	伊藤 裕文	石井 孝一
副理事長	前田 正志	濱西 喜生
(公財)兵庫県芸術文化協会 理事長	西上 三鶴	山本 亮三
神戸市建築住宅局 副局長	小川 直樹	金本 忠義
空家空地指導担当課長	田中 幸夫	小川 直樹
建築安全課長	長谷川 功	田中 幸夫
設備担当局長	岡崎 祐一	田中 文之
設備課長	瀬戸 良典	酒井 真

\*詳細は後日お送りする会員名簿をご覧ください。

安心をカタチに  
**兵庫県住宅再建 共済制度**  
**フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した  
 住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に

住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 <b>5,000</b> 円で 再建、補修時等に 最大 <b>600万円</b> 給付! ※半壊(損害割合 20%)以上	年額 <b>500</b> 円で 補修時等に <b>25万円</b> 給付! ※損害割合10%以上20%未満	単独加入 年額 <b>1,500</b> 円で 住宅とセット加入の場合 年額 <b>1,000</b> 円で 購入・修復時に 最大 <b>50万円</b> 給付! ※床上浸水・半壊以上

※住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

**お問い合わせ**

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)  
 FAX: 078-362-4082

E-mail [jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp](mailto:jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp)

フェニックス共済  \*加入申込書はダウンロードできません\*



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!